

# 『ドア**TO**ドアの公共交通で 魅力ある町へ』

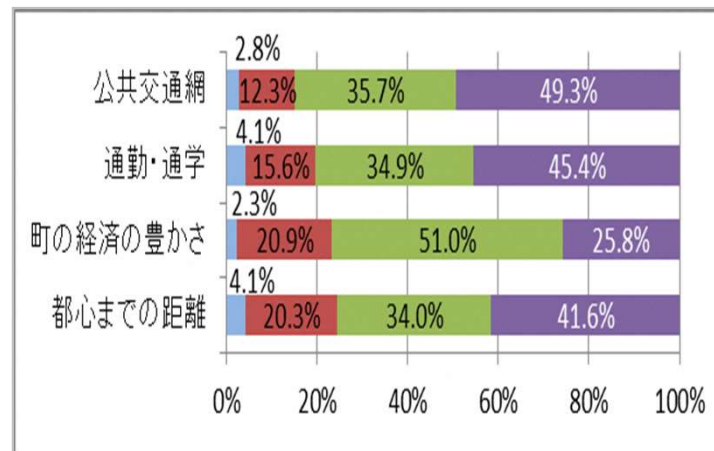
提案者：グループ**A** 5名

# 暮らしやすさへの不満

町民1,500人（無作為抽出）を対象とした意識調査  
（令和元年5月～6月）

【住みやすさ、暮らしやすさに関する満足度に関する回答】

満足度（低）



■ 満足 ■ やや満足 ■ やや不満 ■ 不満

町民は公共交通対策  
推進を求めている！

# 不満の原因

- バスを利用して、容易に公共施設・病院・スーパー・学校等へ行けない
- バス交通の空白地域（魚沼・築比地・金杉）がある
- バスを利用して、高齢者・妊婦・乳幼児を連れての外出が困難
- 利便性の低いバス路線がある
- 交通弱者対策（タクシー・バス利用券等）の利用条件の改善や周知が不十分
- 交通量が増え、朝夕のバス通勤・通学時間が増加

# 解決策は何か

- **デマンド交通の実施**
- **タクシー・バス利用券の改善**

# デマンド交通の効果

- 1) 公共交通空白地域がなくなる
- 2) 高齢者は免許返納の決断がしやすくなる  
➡ 交通事故減少につながる
- 3) 小中学生の塾・習い事などの送迎に利用  
➡ 保護者の時間的負担軽減、安全・安心につながる(子育て支援)

- 4) 町内での買い物客が増える⇒経済の活性化
- 5) 交通事業者(タクシー会社)の増収が見込まれる
- 6) 公共交通対策に対する町民の評価が高まる⇒転出者の食い止めにつながる
- 7) 松伏町の魅力になる⇒転入者の増加が見込める

# デマンド交通成功のための施策

- ①ドアtoドアの運用
- ②簡単な予約方法(マニュアル作成)
- ③低料金
- ④申請書式の簡素化
- ⑤申請方法の多様化
  - ➡窓口持参・郵送・インターネット・FAX
- ⑥容易なオペレーション  
(コンピューター化により、乗合方式も可能)



# タクシー・バス利用券の拡充

## 対象者

- 1) 75歳以上 ➡ 70歳以上に
- 2) 運転免許保持者も対象(免許返納の推進)

## 交付枚数

タクシー： 枚/年 (1枚 円)

バス： 枚/年 (1枚 円)

\* 1乗車に使える枚数(金額)を増やす

\* 年度内使いきれなかった分、翌年度内まで有効

# 利用促進のための認知度**UP**作戦

- ①町の広報に大きく掲載する
- ②初回お試し格安回数券をもうける
- ③町内会・講習会・サークル活動などの場で、  
職員が説明する時間を設けてもらう
- ④商店・病院・理美容院・食堂・健康ジムなどに  
ポスターを貼ってもらう

# 利 用 登 録

- ・必要(利用者確認・自宅検索)
- ・町内居住者
- ・登録証を発行

# 運行システム・運行者・車両

- 町内のタクシー会社に委託
- タクシー（乗合事業用車両）
- コンピューター化し、スムーズに運行できるようにする。